



「なぜイタリアの絵本か？」

「一体なぜイタリアなんだろう？」このエッセーを綴るに当たり、改めて自分自身とイタリア、絵本との関わりについて振り返ってみました。

もともと私は特にイタリアとの深い関わり合いがあったわけではありません。サッカーをしていたので、大学時代に「ヨーロッパに留学してみたいなあ」と漠然と思い始めたのが最初のきっかけだったように思います。その時も「絶対にイタリアへ！」と考えてはいませんでした。ただ、高校のサッカーの練習試合の帰りに、先輩に連れて行ってもらったカプリチオーザで食べたライスコロッケが、なぜか思い出されてイタリアが気になっていました。高校生の私にとってはライスコロッケなんてものは食べたことのないお洒落な食べ物だったので、カプリチオーザが魔法のレストランのように思えたのです。そうしてイタリアへ留学したい



シエナでの語学留学 クラスメイトたちと

と思い始めた私は、大学生からイタリア語の勉強を始め、3年生の夏休みを利用してシエナの語学学校へ短期留学をしました。私自身が奈良の出身です

ので、イタリアでもフィレンツェやローマという大きな町ではなく、小さな町へ行きたいと思い、当時の私にとっては聞き馴染みのなかったシエナを留学先を選びました。イタリアについてその晩に、同じ飛行機に乗り合わせていたスペイン人の大学生に声をかけられ、「ホテルが予約できていない」ということで私が泊まるホテルを紹介することになったのですが、そのホテルが満室で空き部屋がなく、相部屋で泊まることになりました。まだほとんど喋れないイタリア語と英語とジェスチャーを使って何とか意思疎通を図り、一晚語り明かしたことはまだ記憶に新しいです。翌日にはフィレンツェからシエナ行きのバス乗り場で切符を買うを手伝ってくれました。そのスペイン人は親切な学生さんだったので良かったものの、今思うと盗難や強盗に遭う可能性もあったかもしれない、と当時の自身の懐の深さ(?)に驚きを覚えます。

その後、シエナについてから道に迷ったため、ホームステイ先になかなか辿り着けず、マンマに心配をかけることもあり、私の波瀾万丈な留学生活が始まりました。時間の経過と共に、拙いものですが、少しずつイタリア語が通じるようになってきて、友人ができ、パリオを見たり、ヴェネツィアやピサに旅に出たり、サッカーをしたり、野外映画を見たり、と忘れられない思い出が積み重なっていきました。その夏の体験が私の心に強く残り、帰国する頃には「イタリアと関わって生きていきたい」と心に決めていたように思います。

そして、イタリアと関わるために、半ば無理矢理スローブードを論文のテーマにし、フィールドワークという名目で大学4年生の時に再度シエナへ留学しました。これが私のイタリアとの関わりの始まりとなり、帰国後就職した会社でも貿易業務を通じてイタリアとの縁が繋がりに続きることになっていきます。

シエナでは当初、ダンテ・アリギエーリという語学学校に通っていました。その学校の文化講座で私は自分の人生の方向を決定づける短編集、『Il libro degli errori (まちがいだらけの本、ジャンニ・ロダーリ著)』と出会います。ある先生が唐突に机の上にあぐらをかいて座り、「ロダーリとは……」「この短編集は……」と、著者と作品についてとうとう魅力を語り始めました。イタリア語では発音されないH(アッカ)ちゃんが主人公の物語「L'acca in fuga (逃げたHちゃん)」や動詞の近過去の助動詞に用いる essere と avere の言い間違いを主題として南北格差や物事の本質に触れる「Essere e avere」など、その先生の紹介する一つ一つの物語に一気に引き込まれる自分がいました。

「L'acca in fuga」ではHちゃんがなくなってしまうことによっていろいろな不都合が起こります。chiave(鍵)は、ciave になりみんな家に入れなくなってしまう。bicchiere(瓶)は、粉々に砕け散るし、Chianti(トスカナ産ワイン)も不味くて飲めたものではありません。その短編集には私の知らないフクワクが詰まっていた。「Essere e avere」では、andare(「行く」を意味する自動詞)の近過去、一人称単数の正しい形 sono andato ではなく、誤った形の ho andato と言ってしまふ南部出身の2人組が現れます。とある教授が言葉の間違いを正そうとするのですが……、「私は教育を小学生の途中までしか受けられていません。働かなければなりませんから。でも ho andato と言ってしまふことはそんなに悪いことでしょうか?」。ho andato でも「私は行った」という意味は伝わる。言葉の間違いを正すこと、社会の構造を正すこと、果たしてどちらが真に正しいことなのか、教授は考え込んでしまひます。クスッと笑える物語の中で同時に社会問題を定義する内容に、私は衝撃を覚えてしまひました。



大学院生時代 フィレンツェの小学校にて

「子ども向けの本にはこんなにも社会的なメッセージや読者への問いかけが込められているのか」とそう驚いたものです。この本との出会いから私はイタリアの児童書の魅力に魅せられていくことになります。(続く)

続きは、当協会 HP の「エッセー集 イタリア散歩道」で読むことができます。

チエルビアット絵本店 四方 実

検定対策コラム： essere と avere の使い分けをマスターしよう

今回の巻頭エッセーでは、過去形などの複合時制や受動態をつくる際に用いる essere と avere、助動詞の区別に手こずる南部出身の短編集についての紹介がありましたが、私たち日本人にとっても他人事ではありませんね。日本人は、自動詞と他動詞を区別できていないことがよくあるようです。このため、essere と avere の 2 つの助動詞の選別にも苦労しているのかもしれません。

例をいくつか見てみましょう。

たとえば、往来発着の動詞については、その多くが、自動詞で助動詞に essere を必要とします。

- ・ venire 「来る」
Sono venuta a Roma.
「私はローマに来た」
- ・ andare 「行く」
Sono andata a Roma.
「私はローマに行った」

しかし、visitare 「訪れる」も自動詞としたいところですが、こちらは、他動詞の扱いとなるため、助動詞に avere を使います。

Ho visitato Roma.
「私はローマを訪れた」

avere を助動詞に用い、前置詞も不要となります。
= Ho fatto una visita a Roma.

〈第 52 回（2021 年春季）3 級 N 33〉
Sono stato a Pisa tre volte, ma non ho mai visitato _____ famosa Torre Pendente.
a) la b) alla c) nella d) sulla

「私はピーザに 3 度行きましたが、有名な斜塔は一度も訪れたことはありません」

visitare は他動詞ですから、よって正解は、a) の la。正答率は 51.4 パーセントでした。約半分の方が、"Ho" と大きなヒントが隠されているのに、前置詞を用いると考えてしまったようです。

arrivare 「到着する」も自動詞ですので、助動詞には essere を用います。

Sono arrivata a Roma.
「私はローマに到着した」

giungere も、「到着する」という意味で、自動詞扱い、助動詞は essere です。

Sono giunta a Roma.
「私はローマに到着した」

ところが、同じく「到着する」の意味を持つ、raggiungere は、他動詞扱い！なので、助動詞には avere を用います。ややこしいですね……。

Ho raggiunto Roma.
「私はローマに到着した」

いずれも、到着したという意味なので、文章で「到着した」と何度も表現したい場合、arrivare の多用を避けて、giungere や raggiungere も用いると良いでしょう。

助動詞として、avere と essere を用いる動詞があるので、注意しましょう。

〈第 48 回（2019 年春季）3 級 N 31〉
Tu, Anna, con chi _____ il Natale? Con i tuoi?
a) hai passato b) ha passato
c) sei passata d) è passato

「アンナ、君は誰と一緒にクリスマスを過ごしましたか？君の家族と一緒に？」

正解は a) です。passare には、自動詞を用いた「通る；立ち寄る；過ぎる」、他動詞を用いた「越える、越す；過ごす；渡す；合格する」といった意味があるので、混乱してしまいますが、上記の問題は、il Natale と直接補語があるので、ここには、他動詞が入るとわかります。こちらも正答率は 56.8 パーセントと高くはありませんでした。自動詞と他動詞の意味をそれぞれ整理し、自動詞の場合と、他動詞の場合で用いる助動詞が何かということ覚えておきましょう。

ほかに、cambiare、cominciare、finire、iniziare、passare、salire、scendere といった動詞（これは一部です）が、自動詞と他動詞の意味を持つので、しっかりと使い分けできるようにしましょう。

自動詞でも、意味によって、essere と avere を使い分けなければいけない動詞があります。correre がその動詞の一つです。

Sono corsa a casa.
「私は走って帰宅した」（目的）

Ho corso a lungo.
「私は長いこと走った」（動き自体に重点）

mancare も、意味によって、essere と avere を使い分けれます。

Mi ha mancato di rispetto.
「彼〔彼女〕は私に敬意を欠いた」

Mi sei mancato tanto.
「君がいなくてとても寂しかった」

essere と avere の使い分けをしなくても意味は通じるかもしれませんが、実用イタリア語検定では、しっかりと使い分けてくださいね！

＜三度目の正直、73 歳での準 2 級挑戦＞

2012 年秋の 3 級に合格して以来、自分の中では実用イタリア語検定の受験は終わったつもりでした。しかし、新型コロナウイルスの影響でイタリア語検定協会の存続が危機だと知らされ、何か協力したい思いで 2020 年秋の準 2 級を受験することにしました。



感じの良かった signora ヴェルディ生家前の bar にて写すことを始めました。不要な紙にひたすら書いては捨て、苦手な部分や動詞の不規則活用は保存用を作りました。けれど、最後の遠過去までたどり着く前に試験日を迎えてしまい、予想通り不合格でした。記念受験のつもりでしたが結果はわずか 3 点の不足。「もしかしたら?」と思ったのが本格的に取り組もうと考えた第一歩でした。安易に考えていたリスニングも不足していたので、車の中では過去問のリスニングを流し続けました。

そして二度目の挑戦は、合計点は達していたもののリスニングが 2 点足りませんでした。根拠のない自信を持っていたリスニング。過去に旅行した時、なんとかなっていたイタリア語会話でしたが、それとこれとは別物で、当然ながら正確に聴きとらなければいけませんでした。

まずは基本から復習しようとして『1からはじめるイタリア語練習（白水社、白崎容子著）』を書

2021 年の夏はわれながらよく勉強しました。『Le Ali』の受験者体験記を参考にさせていただき、過去問の繰り返しと数年ぶりの NHK ラジオ講座聴取を主に、理解不足のままながらパソコンでイタリア語の新聞記事や動画を見たり、ラジオを聴いたりしました。日本語能力試験 1 級資格を持つイタリア人講師の講座では、受験体験を聞き作文の添削をしてもらいました。

2021 年秋に迎えた 3 回目の受験。出来なかった部分が目につき、次回受けるべきかどうするべきか、そればかり考えていましたが、三度目の正直! なんとか合格出来てとてもホッとしました。

「私にとってイタリア語とは?」ひとことと言えば、“楽しみ”だと思います。自分では年数をよく覚えていないのですが、岡山日伊協会の臼杵先生の教室に 20 年くらい通っています。自由にイタリア旅行をしたというのが最初の動機でしたが、家族が高齢になり旅行も困難になった今では、教室でイタリア人作家の作品を読むのが楽しみです。皮肉や哀愁やシリアスの中にちょっとしたユーモラスな部分が垣間見える、そういう彼らの作品が好きです。



ミラノでのカラヴァッジョ展

2021 年 53 回準 2 級合格 重見 久恵

＜諦められなかったイタリア語＞

2001 年、当時大学 4 年生だった私は、第二外国語として 1 年間、イタリア語を学びました。その後、2016 年に岡山日伊協会で再び勉強を始めたのをきっかけに、実用イタリア語検定への挑戦を始めました。幸い、4 級から準 2 級までは順調に合格することができたのですが、昨秋、2 級を突破するまでにはかなり骨を折りました。以下、過去問題を解く以外に、私が実践した学習方法を記してみます。同じ志を持つ皆さまのご参考になれば幸いです。



ローマに語学留学 授業最終日にクラスメイトとなどを 24 時間流しています。また、映画や動画もよく観ました。

長文対策には、講座で使うテキストに加えて、ネットで探してきた新聞を読みました。日本で報道されたイタリアに関するニュース、あるいは海外の興味を惹かれるニュースを検索し、表示される記事の中から読みやすいものを選ぶのです。

リスニング力向上の目的で、運転中は必ず Rai（イタリア放送協会）の Isoradio を聴いていました。この番組は交通情報、天気予報、ニュース、音楽、インタビュー、CM

作文力向上のために、日常生活を送る間も、自身の意見や感想、置かれている環境を口頭で説明できるように努めていました。書く際は、イタリア人の先生に教わった「ネイティブならこうする」という点を意識しつつ、さまざまな話法と時制を使うことを心がけました。

二次試験に向けては、自己紹介を準備するほかに特別な対策は行いませんでした。そうして迎えた本番では、3 年前の留学経験が大いに役立ちました。

わずか 2 週間とはいえ、自分の語彙力だけでなんとかしなければならなかった状況は、試験のそれとまったく同じだったからです。

ところで、かつて私が頻繁に言い間違えていた completamente という単語があります。案の定、二次試験当日も「コンポルタメンテ」と発音してしまったのを、面接官の先生が「コンプレタメンテ」と直してくださいました。おかげで、以来、間違えたことは一度もありません。まさに“Sbagliando s'impara. (間違いながら覚える)”です。こうした経験を積み重ねながら、1 級合格を目指してさらに頑張りたいと思います。



語学学校近くの Mizzica! でのランチ

2021 年 53 回 2 級合格 A.M.

検定ニュース

第54回春季検定は「実用イタリア語検定 IBT」として、3月13日～3月20日にかけてオンラインで実施されました。初のオンライン開催で、パソコンなどの操作に慣れない方もいらっしゃるせいか、昨年の1,227名に対して956名のお申し込みにとどまりました。

開催後、公式サイトでアンケートを募り、ご参加いただいた皆さまのご感想・ご要望を収集しましたので、特に多かったご意見や今後の対応をここでご報告いたします。

●「イラストが大きすぎて、スクロールして解答するのが大変だった」→従来の紙試験では「イラストが小さくて見づらかった」というご意見が目立ちましたので、イラストを大きく表示しました。しかし、ちょっと大き過ぎたようです。次回は改善いたしますが、余り小さくすると判別しにくくなりますので、幾つかの問題ではスクロール操作が避けられない見込みです。

●「不正行為があるので、試験の信頼性に問題がある」→「不正行為は多かったらう」と回答した方は5.7%。「試験の信頼性を損なうくらい深刻だ」と回答されたのは7.3%でした。一方で「カンニングなどしていたら全問解答する時間はなくなると思う」というご意見がいくつか寄せられましたし、当事務局としても、そのご意見には同感です。「カメラで監視できないのか」というご意見もありましたが、もしそのような監視システムや人員体制を用意すると、莫大な開発費用と運用費がかかり、5級の受験料でも12,000円

以上となる見込みですので、当面は採用不可能です。英語のような巨大規模の検定と同様の方式は、伊検のような零細検定では採用できません。

●「試験終了ボタンが気になった。押してしまった」→伊検に最適のシステムをゼロから構築する資金はともありませんので、既存のシステムをカスタマイズして立ち上げました。このボタンは標準仕様のため、撤去できませんでした。予算に余裕ができれば、将来撤去を検討します。なお、このボタンについての注意喚起方法は次回以降工夫・改善いたします。

●「リスニング・テストの見直しをしたい」→1問ごとに分割した音声再生され、その録音時間が終了すると次の問題がスタートする仕組みとなっています。見直すため以前の画面に戻ると音声も再度再生されるため、紙試験との公平さが著しく損なわれます。従って「戻る」や「見直す」機能は実装していません。音声再生されることがない、全く別の試験問題の枠組みをもう一式立ち上げれば解決できると思われますが、現状ではその予算は全くありません。

批判的ご意見があった一方で「とても受験しやすかった」「安全で、良い環境で安心して受験できた」「都合よい日程で受験できたのが嬉しかった」といった肯定的なご意見をとても多く頂戴しました。皆様からのご意見を参考に、今後改善に努めます。なお、アンケートの集計は完了次第公式サイトに詳しく発表いたします。

<2022年度の試験日程ご案内(予定)>

◆第55回 2022年10月2日(日) ◆第56回 2023年3月(詳細日程は未定)

・春季検定はオンラインでの実施。秋季は従来通り実会場での開催です。

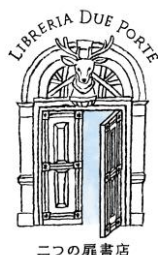
事務局よりホームページ活用をお願い

www.iken.gr.jp

検定試験のお知らせだけでなく、イタリア関係の情報・学校・リンク集など情報を満載しております。豊富な過去問題をeラーニングやコンビニのeプリントで配布していますし、無料サンプルも大量に掲載しています。ご活用いただければ幸いです。

◆INFORMAZIONI◆

今回の巻頭のエッセーを執筆していただきました四方さんは、奈良県で『チェルビアット絵本店』と『二つの扉書店』の2つのweb書店を運営されています。前者の店舗は、イタリアの絵本を取り扱い、6組で運営される協働書店『cojica books』にも出店しています。後者のお店は、イタリア関連の新刊本や古書、珍しいイタリアのお菓子なども扱っています。サイトには、詳しい書評が出ているので、「イタリア語の本が読みたいけれど、何を読んだらいいかわからない……」といった人にも、ぴったりの本が見つかるはずですよ！



二つの扉書店

『チェルビアット絵本店』では、絵本の販売のほか、オンラインで、翻訳関連を中心としたイベントも開催しています。

- ・いたばしの翻訳コンクール大賞受賞の方々との対談
- ・関口英子さん&岩波書店の編集者さんとの対談
- ・京都外国語大学、橋本先生との対談
- ・さまざまな言語の翻訳者さんとの対談など

また、ブックマーケットのイベントの出展も行っています。

- ・さくらマルシェ(奈良県立情報図書館)
- ・猫の絵本(カフェオリオン)など

詳細は、お店のHPでご確認ください。



<https://italiaehon.thebase.in/>